はじめに

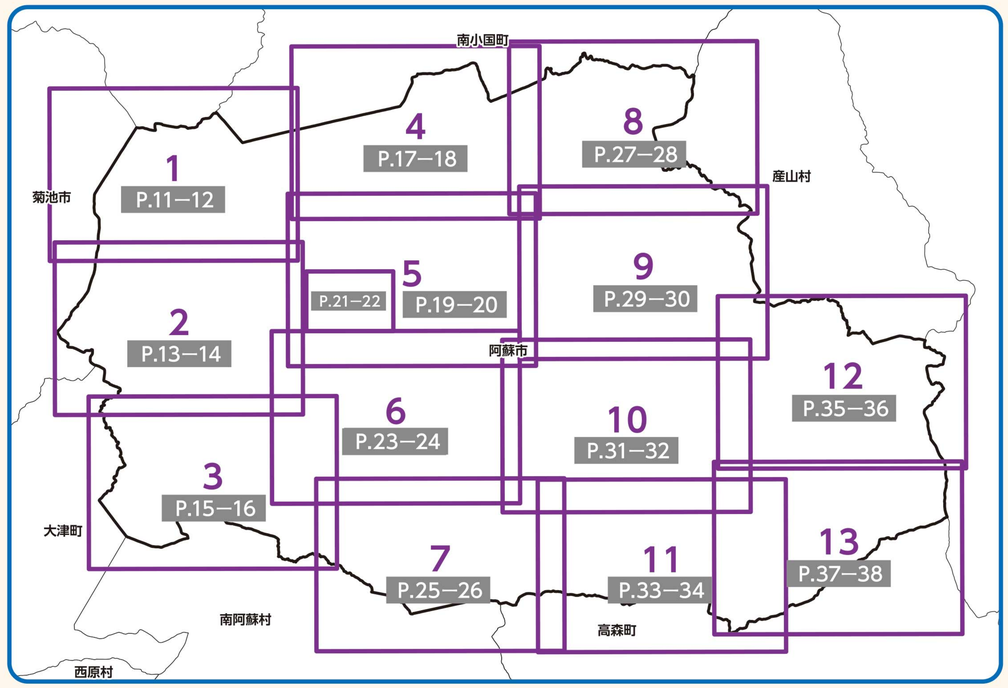
近年の異常気象などから想定を超える大雨、河川の氾濫、土砂災害の発生が頻繁しており、熊本県においても**1,000年に一度の降雨を想定した「洪水浸水想定区域図」**と**熊本地震後の地形を考慮した「土砂災害警戒区域」**が公表されました。これに伴い『**阿蘇市防災ハザードマップ**』に新しくなった防災情報を掲載しましたので、**「自分の命は自分で守る」**という意識を強く持ち、避難行動に役立ててください。

住民の皆さまにおかれましては、災害リスクへの正しい理解、命を守る行動に心がけ、『早めの避難、危険区域の確認』など、自主防災活動（ご家族やご近所による話し合い）など、災害に備えていただけますよう、心よりお願い申し上げます。

目　次

- はじめに …… P1
- 洪水に備えて …… P2
- 土砂災害に備えて …… P3
- 地震に備えて …… P4
- 火山噴火等に備えて …… P5
- 災害時にとるべき行動 …… P6
- 指定避難所一覧 …… P7
- いざという時に備えて …… P8
- 家庭の備蓄のすすめ …… P9
- ハザードマップの見方 …… P10
- いざという時の連絡先 …… 裏表紙

図　割



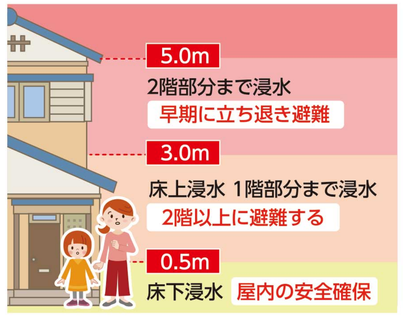
防災その1

洪水に備えて

洪水浸水想定区域が見直されました

早期の立ち退きが必要な区域

洪水浸水想定区域（想定最大）
2階以上へ退避（洪水浸水・土砂災害）
白川水系黒川ほか（481mm／2日）
更新　白川水系黒川ほか（922mm／2日）（熊本県平成31年告示第346号）



ハザードマップは、水防法の規定により指定された区間において、想定し得る最大規模の降雨に伴う洪水による河川が氾濫した場合の浸水の状況を予測したものです。浸水想定区域等は、指定されていない区域でも浸水する場合や、実際の浸水深と異なる場合があります。

浸水の深さを考慮し、早めの避難を確認しておく

マップを確認

- 想定される浸水の深さによって、避難方法は異なります。
- 地図で自分の家で想定される浸水の深さを確認し、避難の方法を考えましょう。

判断

0.5m未満の浸水	0.5〜3m未満の浸水	3m以上の浸水
必ず	時間と安全な避難経路が確保されていれば	必ず
警戒情報に注意する	自宅の2階 危険のない近くの高い建物	浸水しない場所 （避難場所、道路、空き地、高台など）

えらぶ

- むやみな移動はかえって危険
- 屋内待避

- 自宅や近くの丈夫な建物の2階以上にとどまる
- 垂直避難

- 安全な場所へ避難する
- 水平避難